

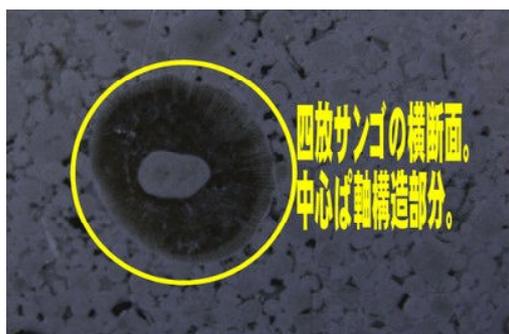
コラーレの化石を含む石材

黒部市のコラーレの床材には、石灰岩のモカクリーム（ポルトガル産）が使われています。石灰岩は、変成作用を受けていないため、保存状態の良い化石を観察することができます。

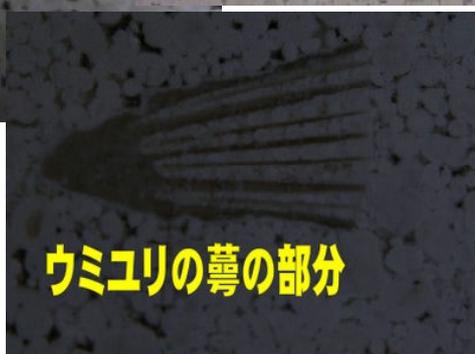
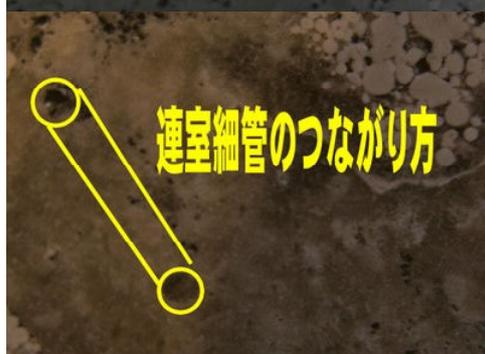
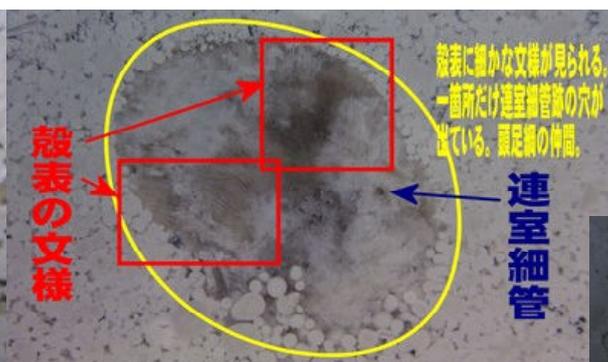


コラーレの化石観察での一押しは、ウミユリです。ウミユリの柄の部分がよく見られるのですが、腕や萼の部分まで観察できるというのはなかなかありません。ホールへ向かう通路のスロープ部分にあるので、ぜひ探してみてください。

ルーペなどで表面を拡大して観察すると円い粒が見えますが、この粒の殆どはサンゴです。コラーレの床材は、古生代の終わり頃のペルム紀のサンゴを主成分としてできています。さらに頭足綱のアンモナイトの仲間や巻き貝の外側の殻が無くなったものなど、珍しい化石が随所にあります。



腕足動物の殻の一部。
殻のように見えるのは、腕骨。



※ これらの映像資料は、コラーレの許可を受けて撮影し掲載したものです。